

令和2年度沖縄国際物流拠点等活用推進事業の成果概要

事業実施主体	株式会社MIZUTOMI
プロジェクト名	機内食ケータリング会社向けへの商品開発・製造を通し、国内はもとよりアジアでも通用する商品の製造と輸出量増大に対応したHACCP工場の設置
事業内容	県内外の特産品を使用して、うるま市工場にて加工し、海外輸出向け加工品および機内食用食品の開発と製造を行う。国際物流拠点を活かして県内までの物流を作り海外・県外への物量の増大を目指す。
今後の計画	2021年度：海外 0 kg、国内 千葉向け200kg 2022年度：海外 香港向け 2,000kg 国内 成田・羽田向け 60,000kg 2023年度：海外 香港向け 4,000kg 国内 成田・羽田向け 120,000kg
最終目標と現状	(最終目標) 令和 7 年度までに、アジア 3 か国へ機内食用肉惣菜の輸出量200 t (現状) 搬出状況等 国際線が止まっているため、輸出できない状況が続いている。
補助事業の効果	(補助事業の効果) 新型コロナウイルスの影響は大きかったものの、工場の機械の導入を進めることができ、沖縄では初となるエアラインの認定工場となることができた。 また、機械の導入により、様々な商品を作ることが可能になったことで、国際線のファーストクラスやビジネスクラス、空港のプレミアムラウンジにて提供しても国際的にも評価いただける商品を開発することができた。 これまでの機内食の原価の見直しとメニューの大幅な改訂を行うことになり、その中でハンバーグ、ローストビーフ、ビーフシチュー、スペアリブなど弊社からの提案メニューが決定している状況。

写真・図



ビーフシチュー試食品



スペアリブ試食品



とり唐揚げ試食品